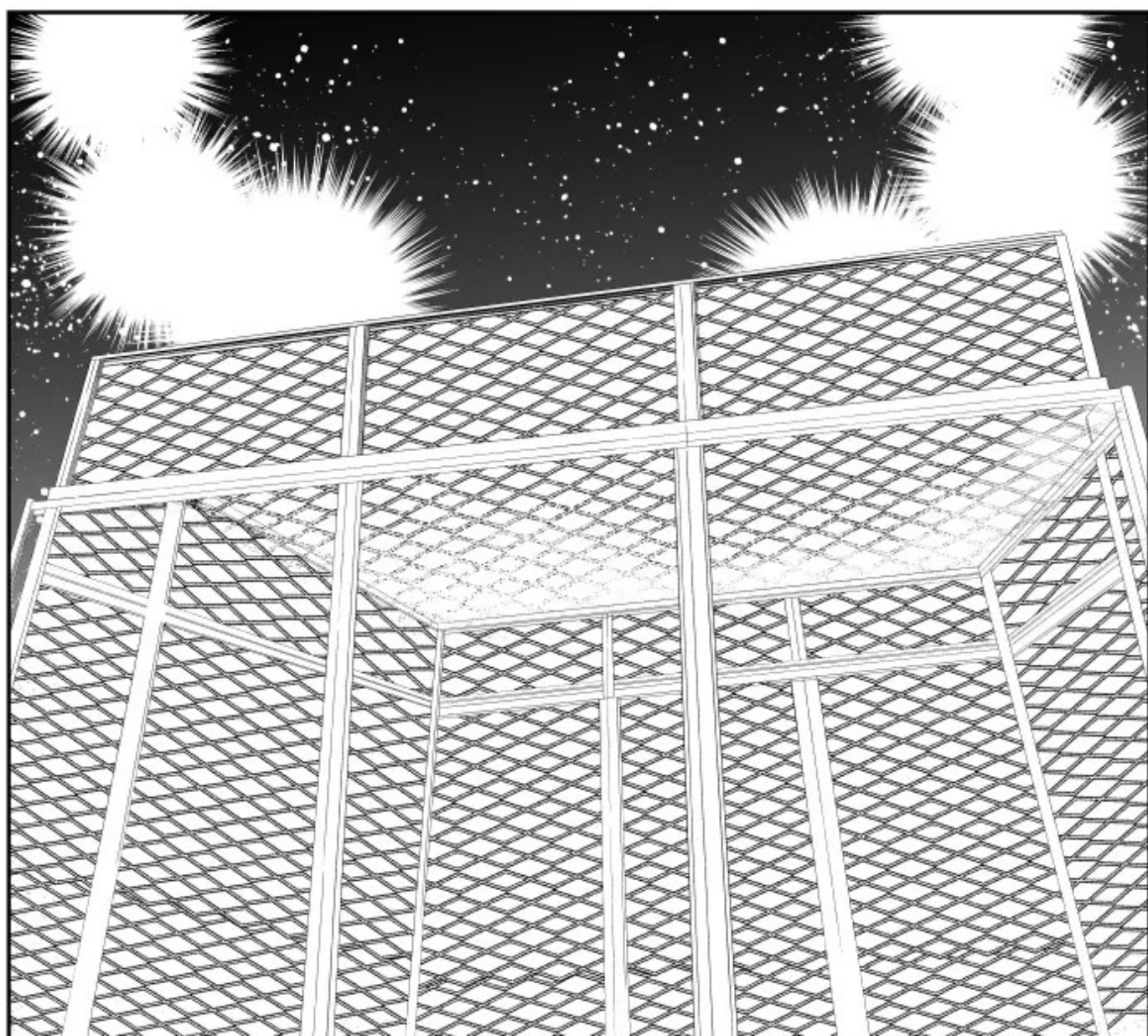
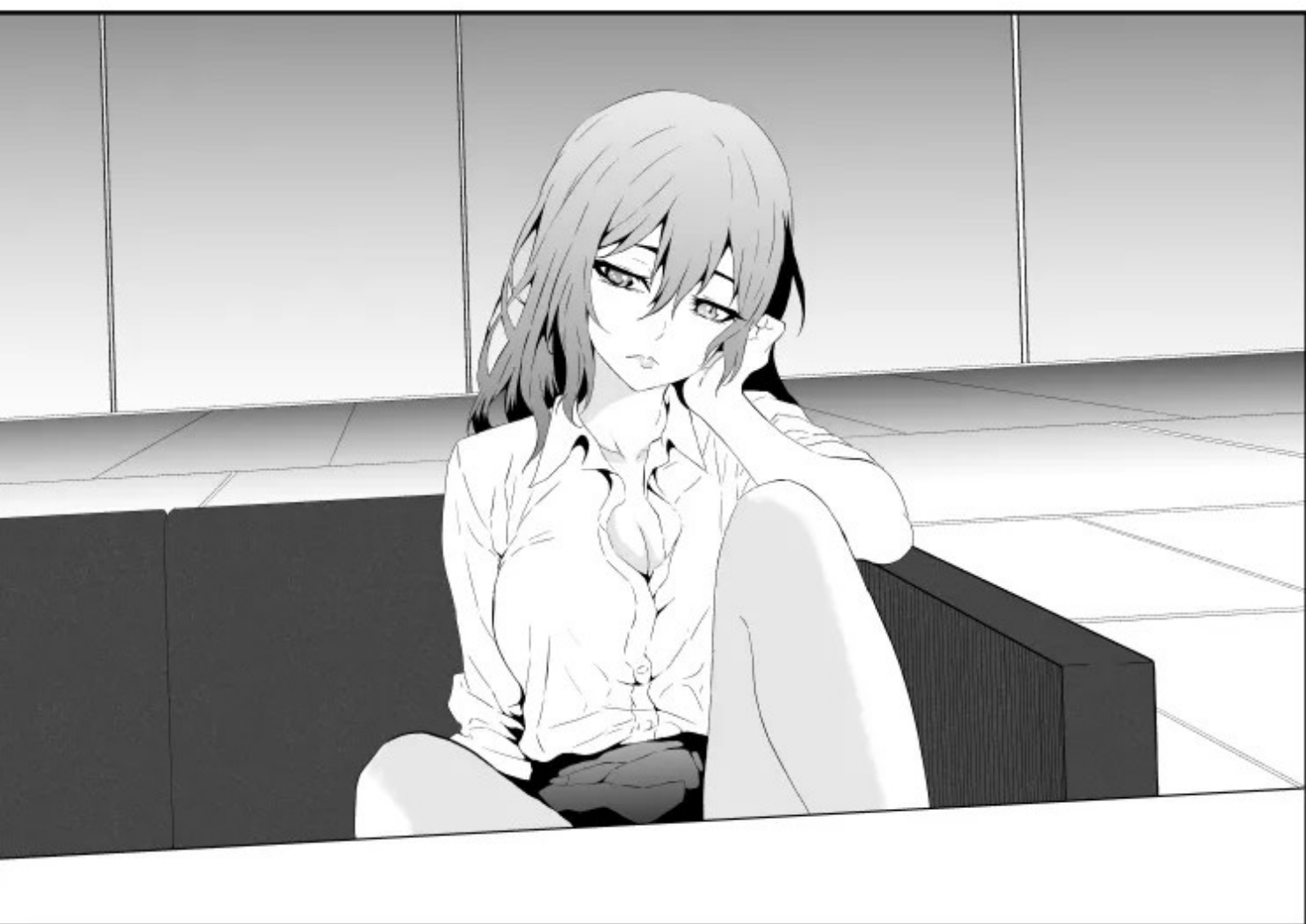


不良少女
白目失禁敗北7



外伝
不良アイドル編





お前も
観戦か？







選手

シロノ・ユウ

な〜んか
嘘くせえな

アイツの
笑顔

あはは！
そう言われちゃ
元アイドルも
形無しだな

は!!
元アイドル!!

んだよ
今どきの
若者のくせに
知らねえのかよ

アイドルってもよ
今沢山いんじゃない

いやコイツ
他にも色々
やってたらしいぜ

俳優やら
配信者やら
アパレル関係やら

……
記憶にねえな

どれも
鳴かず飛ばず
だったらしい
からな
じゃなきや
こんな所で
戦わねえだろ

つか
やけに詳しいな
お前





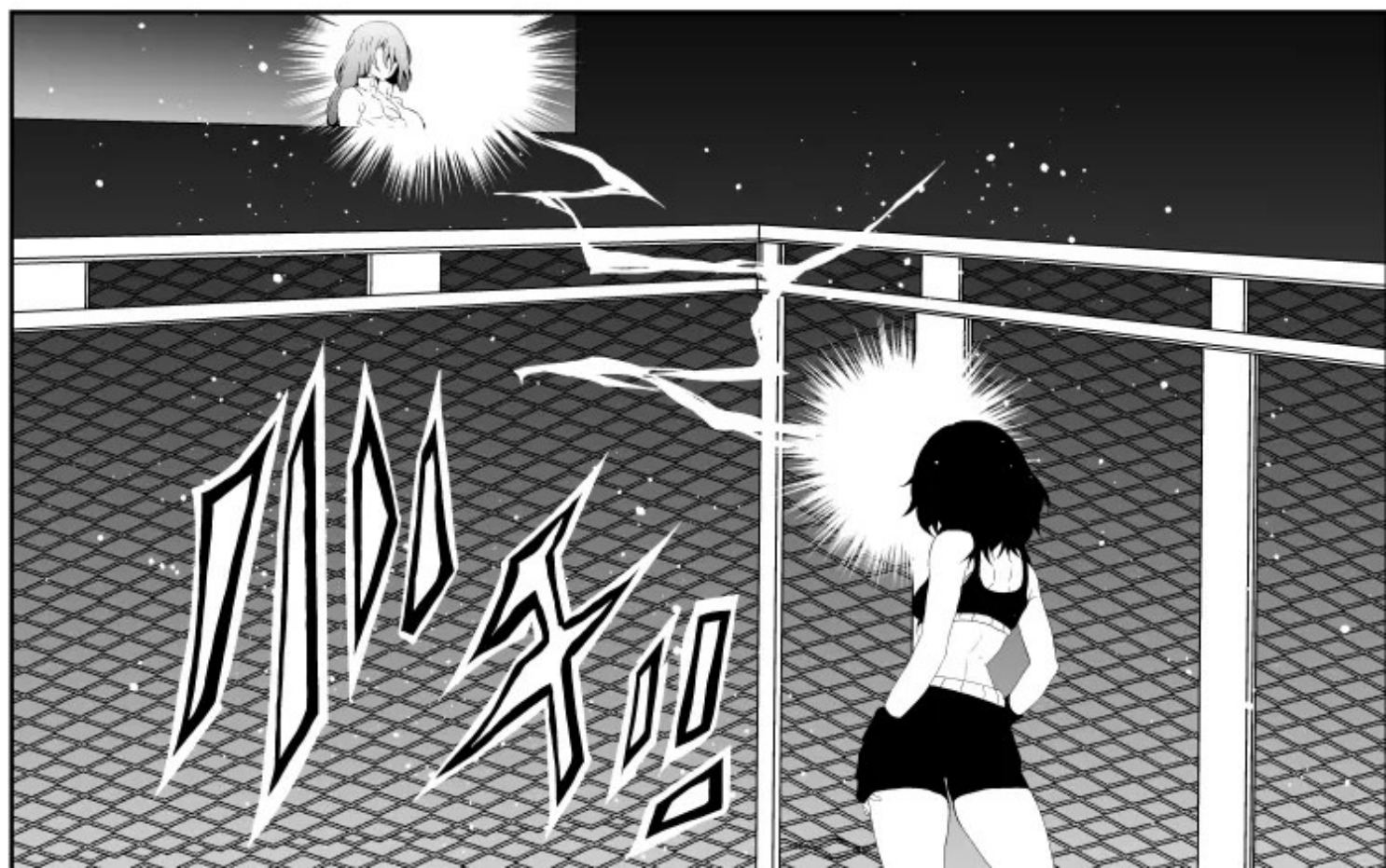
対戦選手

クロサワ



終わったわ







おいクソヤンキー!!
お前の友達が最近
アタシに付きまといっ
てくるんだけど
何とかしてくれまっすう!!

アイコンタクト

それは本当に
ゴメエエエン!!
けど今は試合に
集中しろよ
クソオタクウ!!

何で
意思疎通
出来んの?



—あの



・・・あゝ



アタシの名前
シロノです

覚えて
下さいね











動体視力が
ずば抜けてんだよ
加えて
反射神経も
人並み外れてる

そしてー



当たらねえんだよな
攻撃がさ
あのくそオタクには

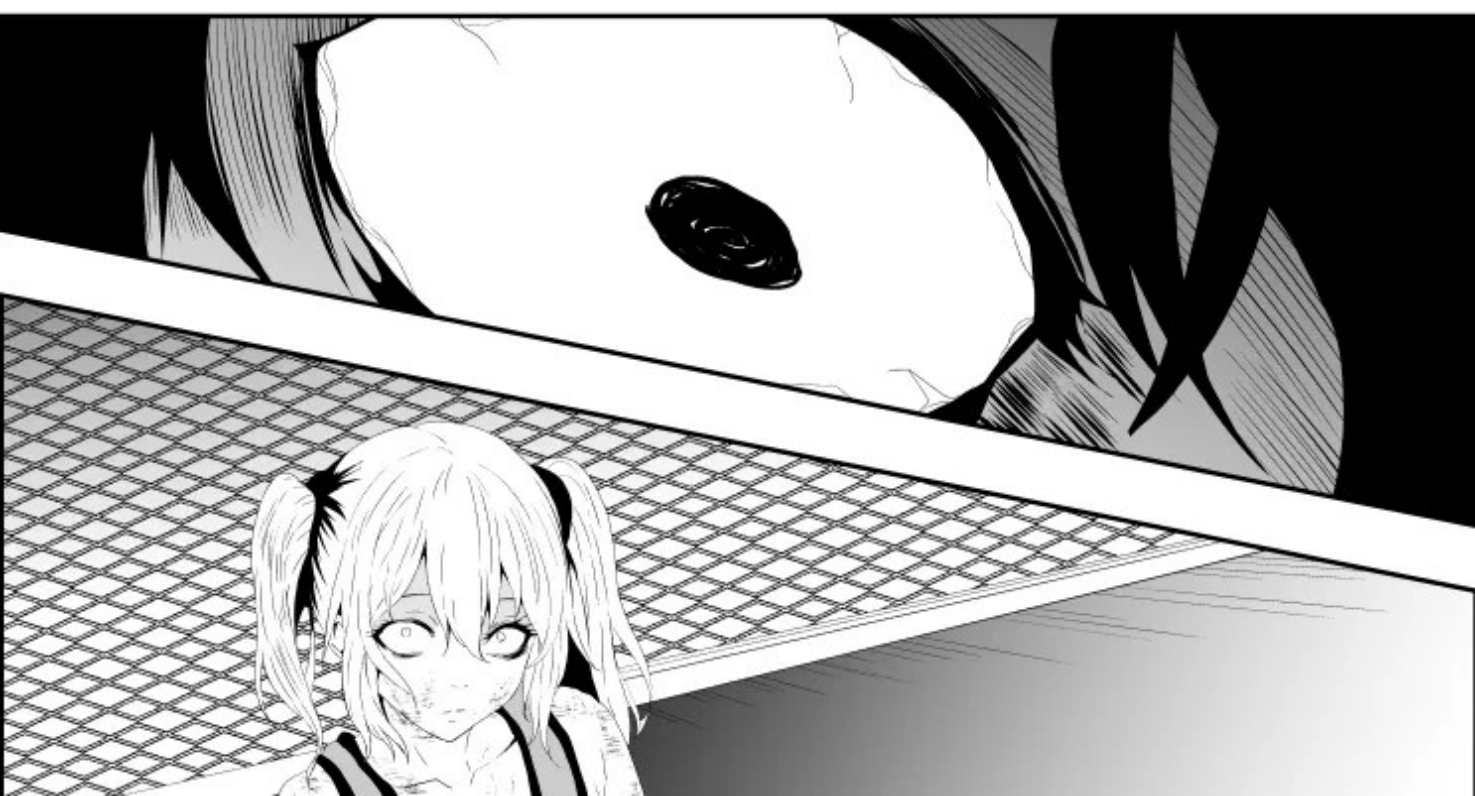


カラダを自在に
動かすセンス



天才だよ











オオオオオオオオ



……終わったな





アイドルって
大変だよな

アイドルってか
芸能人？

知らねえ奴に
好き勝手
言われてよお

いくら努力しても
結果出さなきや
ボロクソ言われる
世界で戦ってんだ







—どうして

戦ってるんだろ？

アタシが
五才の時に
親が格闘技を習わせた

護身目的
だったのだろう
確かその時に
変質者がよく出ると
テレビでやっていいたから

子供の頃から
通っていると
顔馴染みが増え
なんだか居心地が良く

なんだかんだ
中学まで続いた
大会で賞も
もらえたし

高校の時に
オシャレに
目覚めた

スポーツ女子から
イマドキの女子に
なれた気がした

ある時女子グループの
ノリでアイドルの
オーディションを
皆で受けようという
話になった

面白半分：
これも青春の
一ページに
なるんだろう

当時の
アタシは
そんな風に
考えていた

履歴書

合格



優越感を
感じた

その眼差しに
アタシは



選考に
合格したアタシを
学校の皆は
羨望の眼差しで
向かえた



特別だと
感じた

そして
崩れた



圧倒的だった

その娘は
グループの
センターで

ダンスも
唄も才能に
溢れていた

完璧
なにをやらせても

演技もトークも
人格さえも

気味が悪い程に

それでもアタシは
まだ運や才に
恵まれていたと思う

俳優・歌手
バラエティー
色んな活動を
させてもらった

才能も運もある

物事に対しての
興味も努力も
できた
ただー

ソレに懸ける
情熱は無かったー



は？
どういうこと？



だから
抜けてくれって
言ったのよ

今回の
新曲の
メンバーから



アタシから
マネージャーや
運営に
報告しとく

ふざけんなよ!!



なんでよ!!
そもそも
アンタにそんな
権限ないじゃない!!

グループの
リーダーだからって
調子こき過ぎ
じゃないの?!

ふざけてるのは
どっち？

ダンスも
ロクに踊れない
歌唱力も低い

改善も
見られない
趣味と仕事の
区別も
つかないの？

.....！

このまま
皆の足を
引っ張るんだったら
辞めた方が良くじゃない

待ってよ！
確かにアナタの
歌唱力やダンスと
比べると見劣り
するかもだけど：

全員の足を
引っ張る程じゃ：

ダメよ

歌唱力も
ダンスも
レベルは落とさない

アタシの
満足いくレベルに
いつてない人は
全員今回の新曲から
外れてもらう



.....

なに様だよ……..
お前

プロでしょ



中途半端な
モノを提出して
人様からお金を
貰えるのアナタ達は？

ソレと
コレとは!!—

同じよ
自覚が
ないんでしょ？

だから言い訳
ばかり達者に
なるのよ

ハア!!
何だよ
その言い方!!

大体アタシより
劣っているなら
努力すれば
いいだけじゃない

ただそれだけの
話でしょ



してるわよ!

血反吐を
吐く程してるわよ!!

そう



……努力なら
してるっ!



才能が
ないんじゃない？



辞めれば？
人生の時間の
無駄よ



言い過ぎ
よね：

うっ：
ひっ：

キッ：

結局のところ



アタシ達の代の
グループが
卒業して
今なお芸能の
世界で
活動して
いるのは
ごく一握り

アタシはといえば
相も変わらず
色んな仕事に
手を出し
中途半端に
終わる

そしてだんだん
仕事も減っていき
その時に

うさんくさい
アパレルの
バイヤーの回車に
のせられ
アパレル事業を始め
見事失敗

多額の
借金だけが
残った





辞めたら？



時間の無駄よ

その言葉が
アイドルを
卒業した今も

ずっと頭の中に
残り続けている

高い高い壁

何かを
成し遂げたい人は
皆この壁を
命綱を
つけず登っている

それを人は
「挑戦」だったり
「覚悟」なんて
いうけれど

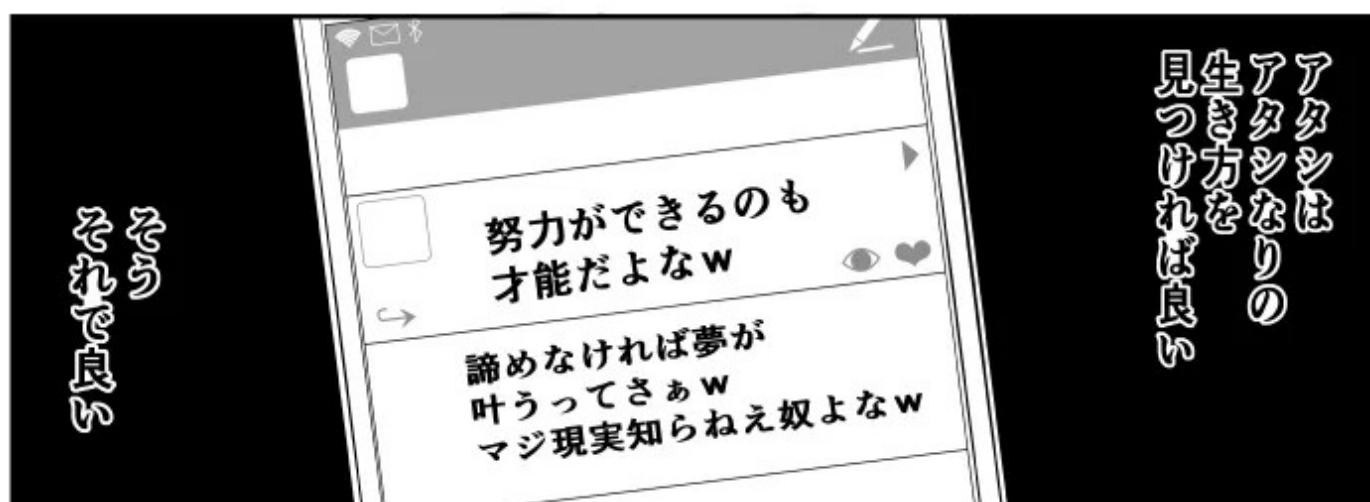
それができる人
なんて一握りの
人だけで
アタシには
できなかった





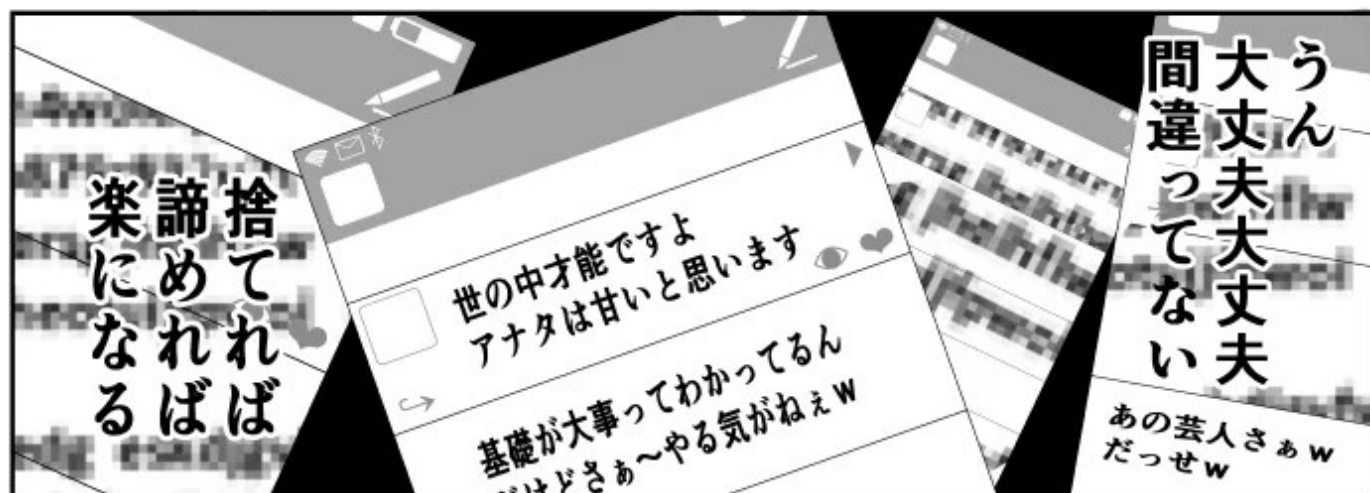
良いじゃないか

別に生き方
なんてものに
正解なんてない



アタシは
アタシなりの
生き方を
見つければ良い

そう
それで良い



うん
大丈夫大丈夫
間違っていない

あの芸人さあw
だっせw

捨てれば
諦めれば
楽になる

そんな
生き方も
選べる筈なのにー



どうして

アタシは
その絶壁に



その憧れに

惹かれて
しまうのだろう





ソレは一

常に上だけを
向いて登っている
モノ達を

振り向かせた

下から
這い上がり

あまつさえ
前にいるものを
喰らおうとする

自分達と同じ
存在が



入口に侵入
してきたと
警報を告げた





シロノユウです



…シロノ



…あゝ
名前

名前
何だっけ？



ハッ！

だよなあ
クソオタク！

クロサワ VS シロノ



本気の奴には

本気で応えて
やらねえとなあ

この試合
クロサワが
始めて！



構えをとる



ははっ

こんだけ
必死になって
やっと名前
覚えてもらえ
るんですか

キッツいな
もうっ：





予感が
あった

観てる側に
確証はないが



次で
決着になるとー



良いの？
ホントに？



はい

別に
こっちが
正解って訳でも
ない事は知ってます

こっちを
選んだことで
失うモノが
沢山あることも

戦う時は
ひとりだけど

戦ってるのは
ひとり
じゃないって
分かってますから

……
一応理由
聞いていい？

そんなもの
決まってる
じゃないですか

意地
です

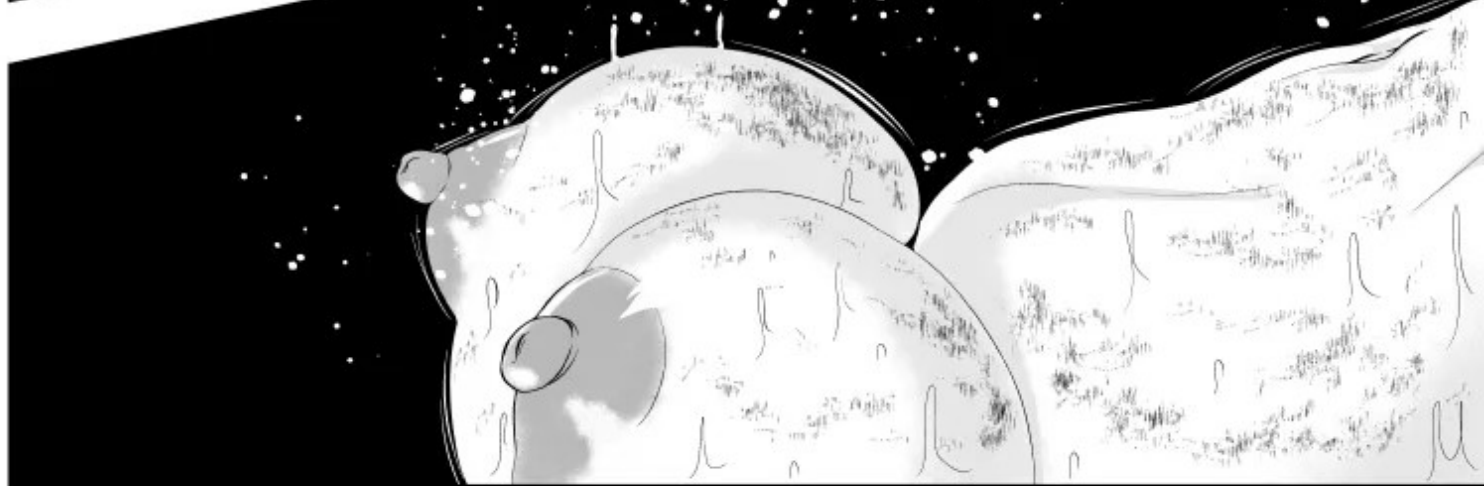
けひっ

この
物好き





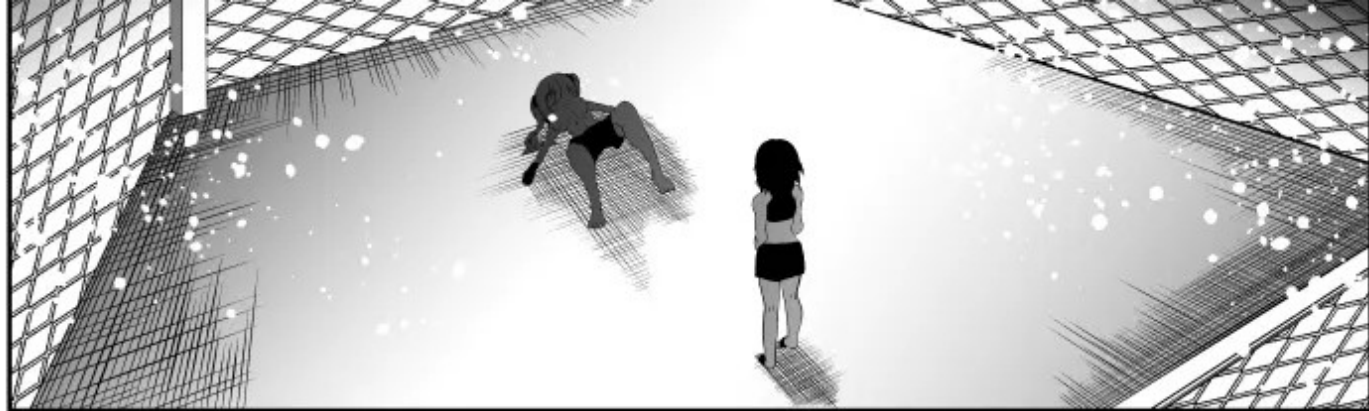












クロサワVSシロノ

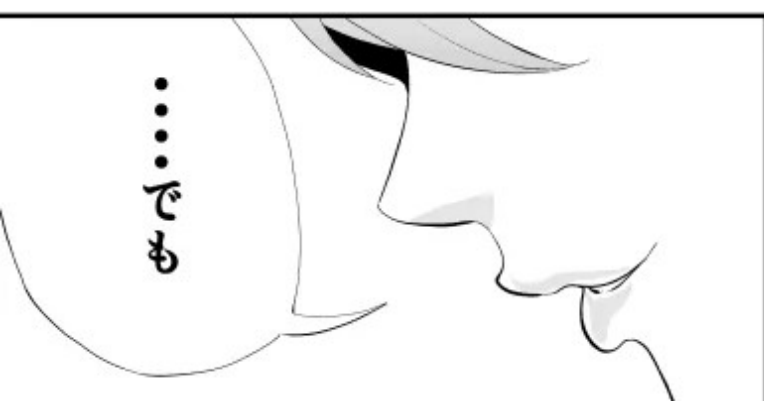


勝者ー

ク
回
サ
ワ



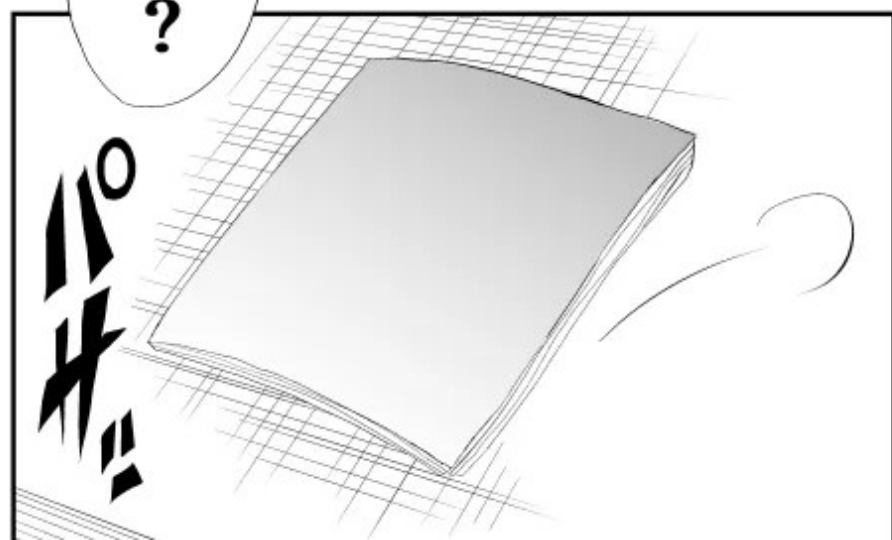
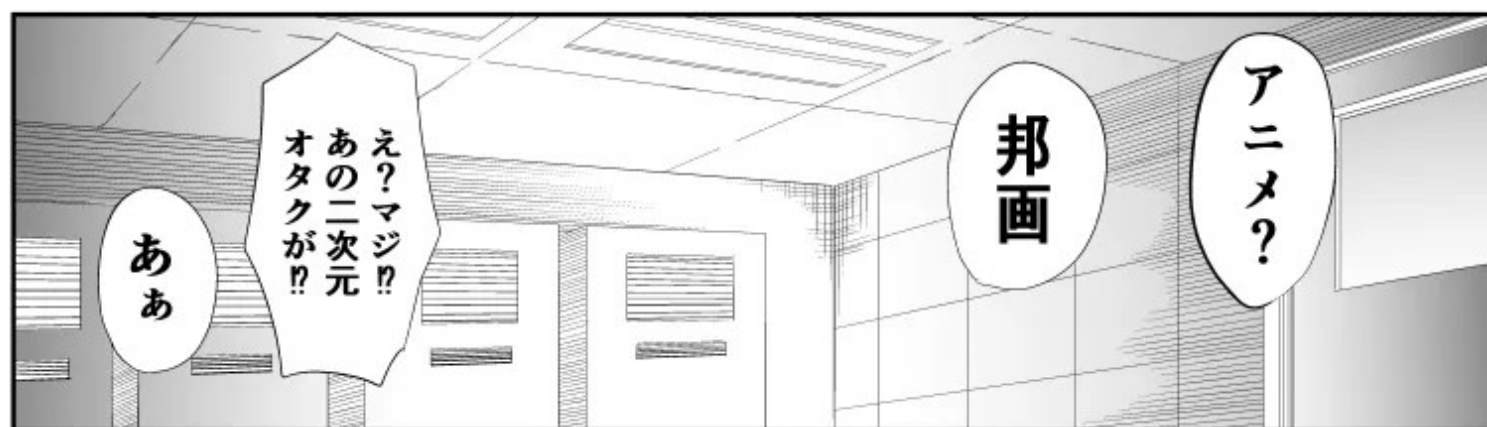






—数か月後





週刊映画

知らね♪

今注目
の
若手女優特集



ご購入
ありがとうございます



※この物語はフィクションです。

実在の人物・団体・事件などにはいっさい関係ありません
本作品の無断転載・加工・複製を禁じます。

尚18歳未満の閲覧・購買は禁止です

サークル

Aries